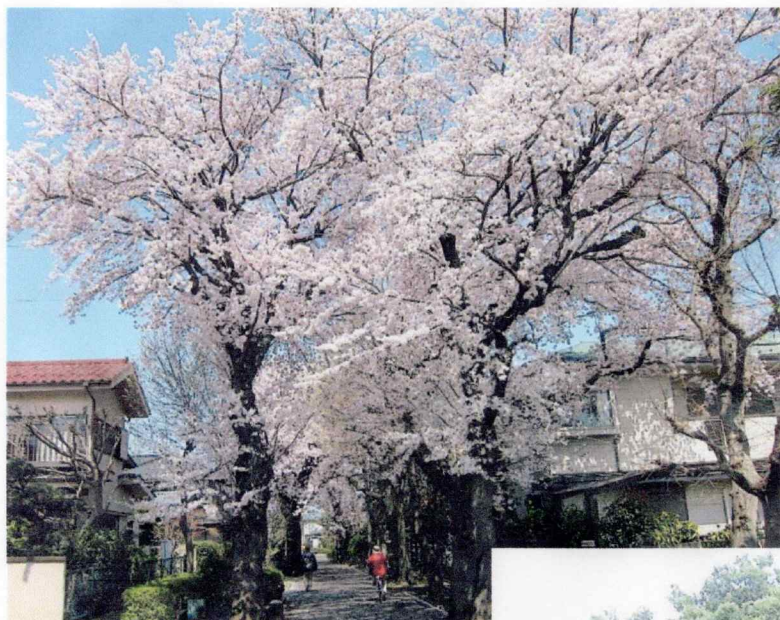


『自治会だより』 - 自治会創立45周年特集号 -

# このまちに暮らして



平成27年7月

前沢四丁目自治会

## 目 次

はじめに	1
このまち・思い出 (1)～(27)	2
人物・伊藤正春さん	S. I C 14
つばき公園	Y. G 15
特別アンケート	16
ざ・談会	17
前沢ときわ会	S. O 24
人物・吉田三郎さん	S. I C 25
夏祭り	S. I K 26
滝山中央通り (写真)	28
資料1 前沢四丁目の人口・高齢化率の推移	29
資料2 前沢四丁目自治会歴代会長・副会長	30
資料3 前沢四丁目、1970年版住宅地図	31
あとがき	32

### 表紙写真

遊歩道の桜(団地入口バス停から)

つばき公園の榎(右奥は自治会が創立5周年記念で植樹したコナラ)

[つばき公園—昭和44年5月10日設立。1,856 m<sup>2</sup>]

## はじめに

このまちの小学生が「君の住んでいるところはどんなところ」と聞かれたら何と答えるだろう。

「近くに」大きな団地があり、「近くに」滝山公園がある・・・海も山も、川もない。神社、お寺、学校もない。幼稚園・・・なくなった。

消防署もなくなった。・・・マックがある、農協の支店がある、何よりも遊歩道があり、つばき公園があるぞ。

ふだん、私たちは「住んでいるところ」をどのように意識するだろうか。「前沢四丁目」を意識するのは、自宅の住所を書くときか。バス停で降りるときか。

もうひとつ、「自治会」を感じる時。

「前沢四丁目」は、昭和44年11月に誕生した。住宅公団の区画整理が終わり、各地からやってきた人々が家を建て住み始めた頃だ。直後に自治会もできた。その意味で、自治会の歴史は前沢四丁目の歴史。

昨年、自治会の会長を担われた「まちの長老」が二人、相次いで亡くなられた。このままでは、自治会の歴史を知っている人がいなくなってしまうのでは、と相談し、45周年という中途半端な時期ではあるけれど、このまちの思い出と記録を少しでも残そうとなった。

懐かしむのもよし、へーそうだったのかもよし、それがどうしたもよし。多くの方から寄稿していただき、写真や資料を提供してもらい、お話しを伺った。それでも拾い集めることができた思い出は百分の一、いや万分の一。

その中で、これだけはこのまちの住人として確認しておきたいと思う。自治会は、「陸の孤島」といわれたこの地の交通事情改善に、静かで安全で住みやすい環境確保に、たいへんな努力を積み重ね、その上に現在があるということ。私を含め、新しく住みついた者は、この環境はあらかじめあったものとして、ここに来た。でも実は、「現在」はこの45年間の歴史の積み重ね。この特集号ではその一端に触れている。改めて先輩の皆さんのご苦勞を思う。

そして、そう、なによりもこのまちにあるのは、住む人の温かい笑顔、優しい手。住み続けたいと思うところ。子供たちにそう感じてもらいたい。

本特集号にご協力いただいた方々に感謝。

なお、寄稿していただいた原稿の多くは3月頃に書かれたものですが、発行が今日になったことをお詫び申し上げます。

平成27年7月 前沢四丁目自治会 会長 広瀬新平

## このまち・思い出

### (1) このまちに暮らして

T. I

練馬から東久留米に転居して、はや26年。前沢四丁目に家を構えて19年経ちました。ゆったりとした環境とご近所の皆さま方のお蔭様にて、当時小学生と幼稚園児だった子供達も、今は社会人として仕事に追われる毎日です。

小生も、当時は出張、出張の毎日で、時には1週間に2度北海道に行くこともしばしばの毎日。仕事や出張の帰りにバスを降りて遊歩道を歩くと、澄んだ空気と高い空、緑いっぱいの景色に包まれた瞬間、えも言えぬ安堵感に包まれました。他界した両親も、生前「桜並木の遊歩道と公園が近くて良い所だ。」とっておりました。また「年2回、側溝やごみボックスの掃除を近所の方とやるんだよ」って話すと、「ご近所の方々に恵まれて良かったね。」と喜んでおりました。今年も、そろそろ遊歩道の桜が咲く頃となります。この一年、家族それぞれ色々ありましたが、お蔭様で新しい春を迎えられます。皆様方に感謝、感謝。

### (2) このまち、ありがとう

A. K

ここに家を建てて、住んだのは、1969年（昭和44年）の8月でした。当時は、空き地が多く、大人の背丈ほどの雑草が一面に生い茂っていました。春には、多くの雲雀が空に舞い、しきりにさえずっていました。二階からは富士山が眺められる日もありました。

その後、家が増え、滝山2丁目、3丁目の団地が建てられ、滝山公園が造られていきました。富士山は眺められなくなり、気がつくとも雲雀の姿も見られなくなっていました。

日本住宅公団が計画した、滝山団地を中心にした住宅地でしたから、まち全体が整然としていますし、ショッピングセンター、市役所の出張所、郵便局、銀行等が適切に配置されていて、住みやすいです。道路が広いから、まちの空が明るく感じられます。

街路樹の檜も太くなり、夏には心地のよい木陰を作ってくれるようになりました。よい住宅地になったと、ありがたく思っています。

### (3) 前沢によろこそ

S. S

私は前沢に昭和45年(1970年)からなのでこの4月で45年になります。

当時はどんぐり林があり、畑の縁にはお茶が植えてありました。春には梅、その後桜、地面には土筆が頭を出して、自然が春夏秋冬。花も植物も、小動物の蝦蟇や蜥蜴がいて、私の所で冬眠し巣を作っています。

1～2月には目白も必ず毎日山茶花の蜜を食べに来ます。去年は柿が、枝が折れるくらい鈴生りに。干柿にし、懐かしい気持ちを70年ぶりに味わいました。

### (4) 自治会発足事情？

S. IC

私が前沢四丁目の住人となったのは昭和45年5月で、その2か月前に自治会は発足していた。私は伊藤会長の勧めですぐ自治会に加入し、翌年は地区の役員にもなった。その伊藤会長から、「当初、この美しい環境を壊そうとする動きがあり、それを阻止するために自治会がつくられ、皆の一致団結により今日の繁栄が実現した」と教わった。いまでも、伊藤会長の温顔を思い出し、当時の役員みんなの粉骨砕身のご苦勞を思うと感謝感激の虜となってしまう。

役員としての最初の担当は「交通安全」だった。当時滝山地区は、別名「陸の孤島」といわれ、バスが唯一の交通手段だった。西武バスが時刻表通りに発着しているか、バス停「前沢住宅」に陣取って一日中チェックしたり、滝山団地自治会の担当者と一緒に西武バスの本社へ出向き、「深夜バスの時間延長」を要求したり、西中の一室へ西武バスの担当者呼んでバス交通に関する諸問題をぶっつけたり、いま思うと「とにかくよく動いたなあ！」の感想頻りである。必要の都度、伊藤会長に報告に行くと、必ず相好を崩し、「ごくろうさまでした」と労ってくれた。伊藤会長の温顔はいまでもしっかり記憶していて、ときどき思い出したりしている・・・。

平成10年に会長をお引き受けし、以前の東久留米市庁へ行き、当時の稲葉市長と一対一で前沢四丁目内にあった消防署待機寮の改変の件で語気鋭く迫った(?)が・・・。稲葉市長の「ダメなものダメです」の返答に刀折れ矢尽きた感じに見舞われたことも忘れられない思い出である。

こうした「なつかしい思い出」は、いまも私の頭の中に連綿と脈打っていて、いまの前沢四丁目自治会の諸活動をはかる「物差し」となっているようである。発足当時のあの力強いエネルギーと協調精神をもってすれば「前沢四丁目自治会の前途は洋々なり」とひそかに思っているのだが・・・。

いまでも一つの疑問が私の頭に残っている。自治会発足当初、現在でも有効の「会則」を、誰が、どのようにしてつくったか。「会則」がつけられたはずの当初事情を、私は伊藤会長にとうとう聞きそびれてしまった。残念至極である。最後に、前沢四丁目自治会の生生発展を祈り、擱筆とします。

## (5) この町の好きどころ

S

夜はとても静かで閑静な住宅街。たまに遠くを通る救急車や消防車のサイレンが聞こえるくらいです。近くには遊歩道や大きな公園もあり、散歩していても快適に歩ける環境が気に入っています。また、大通りに出れば、病院、お店（スーパーやドラッグストア）なども充実し、滝山図書館などもよく利用しています。小金井街道や新青梅街道に隣接しているので車で出かけることの多い私どもには利便性の良さも気に入っております。

## (6) 無題

M. S

前沢にお世話になって40年になります。あの頃はお子様が大勢いて大変にぎやかでした。その時は皆若かったのですが、目上の方達が亡くなられ、お子様も少なくてさみしい思いです。このまま、おだやかに仲よく暮らせることを願っております。

## (7) 大切にしたい終の住みか

Y. KA

前沢四丁目は、東久留米市全体の中でも、交通機関は西武池袋線を利用するにしても新宿線又は中央線を利用するにしても大変便利でアクセスが良いと思います。大きな道路もあり、都心に出るのには少し時間がかかりますが、日常生活の面では十分かと思えます。

滝山公園が近くにあり、桜並木等自然も豊かで私は好きです。転居して八年、静かな朝を大切に、季節のうつり変りを楽しんでおります。又、皆さんが一生懸命に育てられている野菜が、どのようにしてどの時期など知らないことが多かったのですが、いつも美味しく安心していただいております。これからも皆さんのご協力を得て楽しく残された時間を過ごされたいと思ひ、土地を大切にしていきたいと思っております。

## (8) 遊歩道に灯がついた頃

Y. KO

妻と共に現在の住いに入居したのは1969年（昭和44年）2月。大工さんが小屋掛け泊り込みで建てた家です。遊歩道以外は赤土の造成地。午前7時に霜柱を踏んでバス停（前沢住宅）へ。都内での勤務を終え、池袋で妻と待合せて帰宅、という日課が始まりました。大雪の朝、扉が開かず吹き溜り状態。さけられないぬかるみ道、ポツンと駐車する車まで気になる一軒家住まいだったのです。

そんな或る日、バスを降りて目を疑った。前沢一帯の天地が野球場のナイターか。遊歩道の街路灯が一斉点灯したのでした。しかも朝まで、来る日も来る日も。このまばゆい光のもと、次々住宅が建ち上っていく感動は今も忘れません。

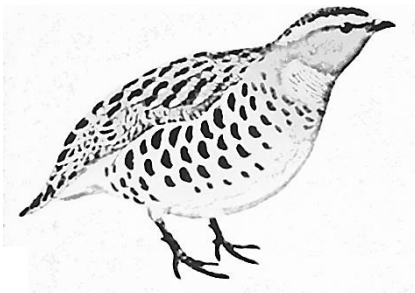
翌年、市制が敷かれ、やがて前沢四丁目自治会も発足しました。後に同居した父も発起人の一人でした。公団分譲地周辺を含めた一帯の環境規制をして将来に亘る地域の安定を要望したり、「つばき公園」を名称通りに椿の木で満たすように、具体策を提案するなど部分的に覚えています。

私は自治会に主だって参加できませんでしたが、半世紀を振り返り町内の方々と直接間接にふれ合って学ばせていただきました。心より感謝いたします。

## (9) 昔の思い出

S

私共が此の町、前沢四丁目に引越して35年、東京の下町台東区よりきましたが、まだその頃はのどかな田園風景がありましたが、今は見渡す限り人家でいっぱいになりました。以前は東久留米市主催の農業祭など滝山公園ではなやかな催し物をやり、野菜を沢山積んだ宝船を陳列又即売、各商店の出店、自治体の宣伝等々華やかだったが、惜しくも何年か前になくなった。



(コジュケイ)

「櫟(くぬぎ)林ではコジュケイが啼いていた。朝出勤時にひよこを連れて道路を渡るコジュケイの姿を見たこともあった。しかし数年後、櫟林がなくなるとコジュケイは引越してしまった。また、櫟林が残っていた頃は尾長が住んでおり、繁殖期には急降下して人を襲うこともあった。」 [松崎敏郎：前沢ときわ会「20年のあゆみ（平成九年六月）」より]

(注) 櫟林—現在のガソリンスタンドのあたり



## (10) 無題

匿名

前沢にきたときは、静かでよい所だったが、今は家がたつて、車がすごい。大きな桜の木があつてよいなと思つていたが、緑が少なくなった。最近は便利になつたが、隣の人の顔も見たことがない、話はしないようにかわつてきたと思ひます。

## (11) 早春の小鳥たち

T. M

滝山公園に隣接し、遊歩道もある前沢四丁目。早春は小鳥観察の絶好の季節です。

私は、朝のラジオ体操で小鳥と出会います。「ツピーツピー」と鳴く<sup>しじゅうから</sup>四十雀は黒いネクタイ姿。「ツッピー」とツがもう一つ入る赤い腹<sup>やまがら</sup>の山雀。チッチイツと鳴きながら少し小さい日雀<sup>ひがら</sup>は梢<sup>こがら</sup>の上方に、小雀は中程で渡つています。

両手を広げ空を見上げた時、枝先で一羽がじつと昇る陽を見つめていました。記憶の辞書を繰つて「あれは旅立ち前の鶇<sup>つぐみ</sup>だ」と嬉しくなりました。

三月三日の朝、久し振りに「フィーフィー」と鶇<sup>うそ</sup>が鳴きました。梅や桜の花芽が好物です。「ギッター」と鋭く尾長が西中の針葉樹に消えました。家に帰ると、目白<sup>めじろ</sup>の夫婦がより添つて「チィ チョ チュ」と餌を待っていました。梅の木<sup>ひよ</sup>の餌籠に蜜柑を入れると鶇にサーッと横取りされました。畑のブロッコリーの葉を食べ尽くしたのも鶇の群です。

そろそろ小鳥たちの愛の季節が始まります。

## (12) 無題

Y

キャベツ畑に蝶があふれ、子供の声が響くおだやかな住宅街で、住みやすいと思つて越して来て30年もたちます。

畑は家になり、住民も入れ替わり、空家が増え、子供の声がしなくなって久しいです。消防車を毎日見せに連れていった消防署も無くなり、新しく建つた家は沢山ありますが、どんな人が住んでいるか分からないし、挨拶をすることがない静かな街になつた気がします。

先々若い人が入れ替わつて、又にぎやかになるといいと思ひますが、長年住んでいて住みやすいところだとは感じています。夜等は相変わらず真っ暗で通るのに不安と言われてますが、畑の関係で明るくならないのでしょう。でも空気も良いし住み慣れた所です。静かに楽しく暮らしています。



### (13) 前沢四丁目・・・選んだこの地

S. IK

私が東久留米市に越してきたのは、昭和48年の11月、31歳の秋でした。妻の実家が武蔵小金井で、前居住地の保谷市は、両親が訪ねてくるには、電車、バスを乗り継ぐなど交通の便が良くありません。

この年、長男が7月に生まれ、翌年には長女が幼稚園に入るため、実家近くに転居先を探していたところ、ギリギリのタイミングで現在地を譲り受けることができました。

当時、多摩地区は、都区内との比較で「三多摩格差」と言われた時代です。都市ガス、本水道、本下水が完備した当地区は、近くに公園、商店街、公共施設もあって活気に満ちていました。

周辺には武蔵野の雑木林、南町の屋敷林と植木畑、柳窪の樹林など緑も多く、郷里茨城を思い出す癒しの風景があり、私にとっては魅力的な街となりました。自治会は、公団の分譲を受けた働き盛りの方を中心に運営されていましたが、我々家族は若輩にもかかわらず、温かく接していただきました。

早いもので40年余りが過ぎ、街の様子、自治会会員の構成も変わりましたが、この地を選んだことに満足しています。

お世話になった方の御恩に報いるためにも、この地を将来とも住みよい町にするために微力ながら努力して参ります。

### (14) 自然豊かな町

匿名

住んで40年になります。都心に出るのにそう遠くなく、四季を感じる花、緑豊かなホッとする街。老後生活にはとても良いところと思っています。

遊歩道の散歩、買い物便利。

最近、畑が住宅地になっていくのはちょっぴり・・・。

でも若い人が住み活気が出るでしょう。これからもまた、変化する町を観るのが楽しみの町です。

### (15) 転居

S. Y

高齢になってからの転居は避けるべきと聞いていたが、私は十数年前にこちらに来てからあまり違和感を覚えたことがない。

緑が多く静かな遊歩道沿いという条件が気に入っていた。

野鳥が見られ四季の花を楽しむことができる。道を行き交う人々との季節や

朝夕の短い挨拶と笑顔に人のぬくもりを感じる。お名前や住所のわからぬ人々とペットや花の話に時を忘れてたりする。転居とは、その土地柄との相性みたいなもので、心情の差が生じるのかもしれない。越してきて良かった思っている。いい土地とのめぐり合わせに感謝している。

## (16) すっかり故郷に

Y. S

前沢に居住して30年が過ぎようとしているが、子供が学生から勤め人、そしてこの地から嫁に、年に三度程地方から帰ってくる。すっかり故郷になっている。

表通りは何カ所か建物や店が増えたり変ったりしているが、滝山公園、遊歩道、キャベツ畑やとうもろこし畑、桜の木はもちろん大木になってきているが、ほぼ30年前と変わらず。

都心から1時間足らずのこの地は太陽をあおぎ、鳥の声で目覚められ、年を重ねるごとに幸せを感じる落ちつける地域である。

## (17) 思い出

C. I

前に住んでいました横浜・反町三ツ沢から、今度家を建てる所(土地)を家族で見に来た時のことを思い出します。

武蔵小金井から前沢までの距離がとって長く感じました。

滝山公園から前沢・・・あの辺だなあ・・・と眺めながら、周りには何も無い。毎日のおつかい・・・どういう生活になるのか?とても不安でした。

私はあまり乗り気ではありませんでした。

今は、前沢に住まわせて頂いていること、義父にも周りの方々にも本当に感謝です。

## (18) このまちに暮らして

S. I

東久留米市は、人口も約11万人と少ない東京の西側郊外に位置する小さい街です。一長一短も感じますが、都心部に比べると緑が多く、空間も十分にあります。従って、健康的な生活が出来る環境かと思います。

特に滝山・前沢地域は、旧住宅公団の開発事業区域でもあり、平坦な土地と広い住環境となっています。加えて交通アクセスのバス運行頻度も多く、利用者側にとって利便性を感じる要素もあります。

当 前沢四丁目自治会 創立45周年と言うことは、現状及び今後に於いて、地域住民の少子高齢化を切実に感じる部分でもあります。

そういう意味でも、活気の無さ！とか寂しさ！なども感じますが、夏祭りでの賑わいや近所のMAC、そして某グラウンド跡地に新設されたイオンに出かけますと若いファミリー世代・幼い子供たちを見かけます。

自分達の昔の記憶が甦ったり、元気で動き回る姿を見てますと若さと活気を感じます。そしてこの地域は、高齢者ばかりの街ではないんだな！と想うこともあります。

市北東部では、学園町を中心に古いが整備された住環境と多くの緑、清流、竹林なども見られ、昔の武蔵野を感じさせる地域でもあります。

また自由学園など広大な土地に豊かな緑と災害時での避難場所として活用するなど、都心部では、考えられない地域としての魅力・メリットも感じるのです。

つまり、東久留米市には、古くからの町、学園町等に見られる武蔵野の自然な環境（緑・清流など）、そして比較的新しい町、滝山・前沢の開発地域等々、様々な東久留米市の顔（風情）を感じます。前沢の良き生活環境及び住環境もさることながら地域：武蔵野の自然にも触れ合いながら、今後も前沢4丁目です暮らしたいと思います

## (19) 春になると

S. Y

我家は、昭和四十九年に滝山団地からここ前沢四丁目に越してきた。「犬が飼える」と二階へ上ったり降りたりして喜ぶ姉と、「滝山のお家へ帰ろうよ」とベソをかいていた妹。二人は今、五十歳と四十四歳、年頃の子を持つ多忙でしっかり者の親である。私は高齢者の仲間入り、そして旅行を楽しもうと言っていた夫は、予測もできなかった彼岸へ旅立っていき、一人暮らしとなった。遠い親戚よりご近所の大切さ有りがたさを身にしみて感じている。自治会もこうしたテーマに役割を担う時代になってきた。

景色も大分変っていった。二階から見えた富士山も直に見えなくなり、雑木林が消え畑が減って、マンションや新築が増え、世代交代であろうか改築の家も多く見られる。その新しい景色は、前沢四丁目が若い世代へと時代が移っていく象徴であろうと、頼もしく嬉しく眺めている。

さて、ご存じでしょうか。春になると、ガソリンスタンドの裏側の溝伝いに濃い紫色のすみれが列をなして咲くことを。実はこのあたりは雑木林で、一本

の山桜が花と若葉を絶妙なバランスで咲いていた所。木々の間、陽の当たる所にすみれやタンポポが咲いていた。すみれはこの子孫であろう。コンクリートのわずかな透き間に根をおろし咲き続けている。

自治会四十五周年にあたり、このすみれに重ねて思う。しっかり根をおろし、みんなの為にあり続ける自治会であってほしいと願ってペンを置く。

## (20) このまちに暮らして

R. W

前沢四丁目に住みはじめて約3年。バス停が近く、いろいろなお店もたくさんあり利便性が良いだけでなく、遊歩道や畑、公園など緑も多いので、日々子供達と楽しく買い物や散歩を楽しんでいます。

散歩をしているとすれ違う方々にもよく声をかけていただき、人の温かさも感じています。とても素敵なところに引っ越してこられたと主人ともよく話しています。

夏にはにぎやかなお祭りもあり、子供達が大きくなったら、さらに楽しみが広がるなど期待しています。

## (21) シダックスがあった頃

S. H

9年前、当地に居を構えようと思ったのは秋だった。翌春、建築中の家を見に来て、バス停で降り、遊歩道を見上げた時の感激。満開の桜並木が入口からアーチとなって数百メートル。豪華絢爛(と思った)。振り返れば5丁目方面も。すご〜い。思わずカメラのシャッターを切った。

住み始めて近所を散歩。バス通りに得体のしれない建物がある。恥ずかしながら「シダックス」を知らなかった。いや、名前だけは聞いたことがあったかもしれない。なんでこんな住宅街にあるのだろう。お客なんて来るのかしらん。まあ、せっかくだからどんなところか「見てみる」のも悪くない、と思っていたところ、娘のいとこがわが家に。一緒にシダックスに行ったという。「パパも今度連れてって」。言下に「イヤダ!」。それはないだろう。親不孝者めが、そんなだからその年で結婚できないのだ、と腹の中で毒づいた(口に出したら今頃生きていない)。

桜の木はいつの間にか少なくなった。シダックスも消えた。2年前に娘も家を出た。まだ結婚はしていない。(絶対匿名を希望)

## (22) 東久留米に住んで4年

K. H

杉並区から越してきて、もうすぐ丸4年になります。

東久留米は畑の直売所があったり、商店街や商業施設も充実していて、暮らしやすいと思います。

犬の散歩などでも気さくに声をかけてくださる方も多いし、前にいたところとは電車で20分ほどの距離しかありませんが、同じ東京ながらかなり違いを感じるがあります。

ここに越してきて良かったと思っています。

## (23) このまちに暮らして

A. W

早いもので、借り上げ社宅として前沢四丁目に居を構えてはや四十数年。子どもの出産に向け、環境のいい所を探していたところ、広いお庭にちいさな家、周りは桜並木の遊歩道、整然と整った瀟洒な家並、道の向こうは広い畑と高い空、子育てには願ってもない場所を見つけました。この機会に改めて考えてみますと、いろいろ脳裏に浮かぶと同時に環境の変化に驚く次第です。

まず、この時期には高い空でヒバリが歌い、そこに鳥かごを持ったおじさんが芝生畑に空でさえざるヒバリの声を聴かせ、いいハーモニーを奏でていました。隣の畑はウド畑、その後5～6年でキャベツ畑・大根畑に変わりました。また、昭和50年前後から54年頃まではよく雪が積もり、子供たちは畑でソリ遊び、道路ではスキーもやり楽しみました。懐かしい・・・どちらの畑も今は住宅となり賑やかになりました。



(雪の朝。奥に西中が見える)

## (24) このまちに暮らして

K. S

この町に暮らして15年・・・シニアクラブ「前沢ときわ会」の会長を昨年引き受けておりますが、まだ現役で働いておりますので仲間のみなさんには何かとご迷惑、ご心配をおかけしている74歳になる者です。



(前沢ときわ会ゲートボール部。「20年のあゆみ」より。昭和57年の久老連大会で前沢ときわ会は2チーム出場し、優勝、準優勝を占めた。)



(3団体合同の遊歩道清掃)

移り住んだ頃はまだ畑だったところに、ここ数年でマンションや建売住宅が建ち、幼児や園児づれの若いご夫婦が大勢引っ越してこられて、家の隣のつばき公園からは可愛らしい声がよく聞こえてきます。

四丁目の新住民や、未入会の住民を一組でも多く入会していただくにはどうしたらいい

か・・・忘年会や敬老会に参加したり、桜並木の清掃を自治会とシルバー人材センターと前沢

ときわ会の3団体合同でやってみて、新しい触れ合いが生まれたこと、楽しい時間がもてたことなど

をとおして、町内会住民としての意識がはっきりしてきております。・・・季節の節目節目や

雛祭り、端午の節句、夏休みやお盆、秋祭等々年中行事の折々に、細やかに町内の催しを企画して

みてもいいのでは・・・とも、考えております。

経費は古紙や空き瓶などリサイクルとプラスαで賄える範囲でやること、担当者は催し物の当事者と自治会役員、ボランティア等々。

最初は数人でも続けていけば結果は後からついてくるのでは・・・と思っております。新会員を増やすためのお役にたてれば嬉しいです。

## (25) 街並

S. K

私達が4丁目に引っ越して来て36年たちます。

団塊世代の子供達が沢山近所におり、町内会も年1回の西武バスで日帰り旅行有り賑やかに暮らしておりました。

時は過ぎ、町全体が前・後期高齢者の町になりつつ有る！新築住宅も多数建ち、若い親子の姿もみられるようになりました。

## (26) ♪この街で♪

匿名

この街で・・・のこの歌詞のように、こうして暮らしていける前沢四丁目  
いて欲しいですね。

### ♪この街で ♪♪

作詞：荒井 満 作曲：荒井 満 ・三宮 麻 編曲：瀬尾 一三

この街で 生まれ この街で 育ち  
この街で 出会いました あなたと この街で  
この街で 恋し この街で 結ばれ  
この街で お母さんに なりました この街で

あなたの すぐそばに いつも わたし  
わたしの すぐそばに いつも あなた  
この街で いつか おばあちゃんに になりたい  
おじいちゃんに なったあなたと 歩いて ゆきたい

(注) 編集上の都合で1番の歌詞のみ掲載いたしました。御了承下さい。

## (27) 懐かしい思い出

H. F

滝山団地より当地に転入33年になりました。

団地では、少年野球ドリームセブンの手伝いを頼まれ、コーチ、監督、会長  
まで任されました。夏祭りには少年野球運営資金捻出のため滝山団地自治会に  
お願いして出店、その代わりにコーチ、監督が阿波踊りに駆り出されました。  
当時は団地入口から5丁目まで通しで踊り、2年後には腰を痛めました。いま  
だに悩まされています。



当地に転入後も滝山地区との付合いで、少年野球、グラウンド  
ゴルフ、バードゴルフに関わり、会長も勤めました。滝山公園で  
催す大会のたびにトイレに行列ができ、行事にも差し障りがでる  
ので、公園使用の各団体をお願いして700名余の署名を集め市  
議会に提出、全会一致で採択され、新たにトイレを建設するこ  
うことができました。防犯カメラも設置してもらいました。公園を散歩  
するたびに当時を思い出します。



## 伊藤正春さんのこと

S. I

昭和45年3月22日、前沢四丁目自治会は発足した。その初代会長に伊藤正春さんが万場一致で、文句なく選ばれた。伊藤さんは、その秀でた学識経験、温和人柄、卓越した指導力を発揮して、短時日のうちに自治会の基盤を固められた。自治会長として縦横無尽に活躍された伊藤さんの底力は、むかし都庁水道課勤務時代に培った実力の投影だったに違いない、と私はよく連想したものである。

四丁目自治会がスタート以前、住宅公団がこの地を含む滝山地区を“町作りのシンボル”として計画中、一部住民の環境を害する計画が取り沙汰され、その防止のためにつくられたのが、「当自治会の原点だった」という真相を、伊藤会長からなん回も叩き込まれた！

もうひとつ、絶対に忘れられない出来事がある。伊藤会長の二期目、昭和47年3月、前沢四丁目を含む滝山地区住宅地を「第1種住居専用地域」に指定させるため、他の自治会と協力し合ったり、紹介議員の応援を得たり、市が提唱してきた第2種住居専用地域案への反対運動集会を繰り返し開いたり、と必死だった。このとき、伊藤会長は当時の藤井東久留米市長、市議会議長、さらには東京都首都整備局に出向いて反対の意思表示に懸命だった。

昭和47年10月24日、当自治会からも傍聴のため多数が出席した都市計画審議会で、私達の要望どおり第1種住居専用地域が可決されたときの感激を思い出すと、今でも胸が熱くなるし、自治会の存在意義を強調したい誘惑に駆られる。そして、前沢地区今日の繁栄の基礎を築いた伊藤さんの比類なきご努力に感謝するばかりである。

伊藤さんは八十歳近く、すべての公職を退き、悠々自適の生活に入ると共に、市の短歌講座に入会するなど歌作を始めた。そして、平成13年暮れ、それまでの歌作二六〇首をまとめた歌集『しろがねの風』を上梓した。

伊藤さんが「米寿の記念の意味もこめて発行を思い立った」といわれるこの歌集を、私も一首ずつ味わいながら通読した。読み終えて、そこで得た率直な感想を伊藤さんに伝えたら、電話ですぐ返事がきた。曰く「市川さん、買いかぶりですよ。過大評価ですよ！」といった調子(笑)・・・伊藤さんは平成15年3月、天国に召された。盛大な葬儀に出席し、温顔溢れる伊藤さんの写真にここからの感謝の念を捧げた。合掌。

## つばき公園の思い出

Y. G

私は、1970年（昭和45年）5月末、前沢四丁目に転居してきました。当時の前沢は鬱蒼とした雑木林が多く、新しく出来た遊歩道と区画整理された土地、そこにポツポツと建てられた新築の家屋がある、緑ばかりの場所でした。

我が家はつばき公園に隣接していることもあり、つばき公園と共に育ってきたといっても過言ではないと思います。

今でこそつばき公園は、椿の木は勿論のこと、大きな木を中心に様々な樹木が大きな枝を広げていますが、当初は背の高い、ヒョロッとした松の木が何本か生えていて、柵の周りには小さな椿の木が植えられているばかりでした。そこに、ブランコと砂場とジャングルジム、滑り台があったのですが、当時の滑り台はコンクリート製だったので、私が小学生の頃はズボンやパンツを破いて帰って、よく母に叱られたものでした。

そして、夏は毎晩のように網戸にカブト虫やクワガタ虫が沢山張り付いていて、取り放題だったのを思い出します。現在ガソリンスタンドがある一带と、その向かい側一带は雑木林だったので、夏場は昆虫採集の宝庫でした。近頃姿を見せなくなったカナヘビも沢山いて、我が家ではカナヘビを10匹くらい飼っていました。

そんな環境だった当時から45年が過ぎました。

今でも同じ場所に暮らしており、時の移り変わりと共に環境の変化も感じていますが、過去も現在も住民に愛されている公園  
(コンクリートの滑り台)



(昭和44年、つばき公園を望む。2本松と滑り台がある)



## 特別アンケート

### 開拓者たちはどこから

・・・ 創立時からの会員43人に聞きました

自治会には創立の年、昭和45年12月作成の会員名簿が残っています。このときの会員は89名。45年後の現在も引き続き会員であるお宅は47世帯。この創立時からの会員で、お会いできた43世帯に次の質問をしました。

(1) 前沢四丁目に来る前はどこにお住まいでしたか。

(2) こちらに来た時の世帯主の年代は。

結果は次の表のとおりです。

#### ■ 前居住地 ( )内は会員数、( )なしは1会員

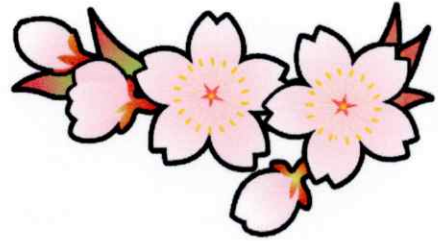
市内(久留米町)	現前沢一丁目、下里(2)、野火止、八幡町	5
多摩地域	小金井(2)、保谷(2)、田無、立川、武蔵野(2)、日野、国立、狛江、東大和	12
都内23区	新宿(2)、中野(3)、杉並、練馬(5)、文京(4)、豊島、渋谷、港、墨田、葛飾	20
他県	茨城、千葉、神奈川、埼玉(2)、愛知	6

畑と雑木林と赤土の造成地。人家もまばらなこの「開拓地」に、公団の高い倍率の抽選を経て、都内各地からそして周辺の県から集まっていた。23区内からが約半数を占め、練馬区からが5人と最も多いことがわかりました。結婚して初めてのお住まいを当地に建てられた方が2世帯、何度かの転勤の後、当地に落ち着かれた方もいらっしゃいます。

#### ■ 当地に来た時の年齢(世帯主)

10代	20代	30代	40代	50代	60代
1人	5人	16人	9人	10人	2人

10代のお一人は、仕事の関係で事実上親御さんが当地に居住しなかった方です。30代が最も多く、20歳代と若くして当地に家を建てお住まいになった方も5人いらっしゃいます。



## あれから45年、遊歩道の 桜が若かった頃

とき 2015年4月25日  
ところ 味の民芸隠れ部屋

- 出席者 T. I、M. K、W. K、To. T  
Te. T、A. W、S. Y  
□ 司 会 S. I

司会 今年の前沢四丁目自治会が設立されて45年となりました。当時、前沢四丁目は日本住宅公団によって区画整理され、公団が分譲した土地と公団が買収しなかった私有地がありましたね。公団の分譲地は10年間の売買制限がありました。さて、当時の状況は。

W. K すごい雑木林で、田舎よりも恐ろしい、こんな所に住めるかと思いました。

### ■ ウド畑と雑木林の分譲地 ■

T. I 横浜からやってきました。最初なんにもないところでね。こんなところ来てお使いどうするの、食事作る私の身にもなってよ、いやだいやだと思った。父はこの土地が当たった、宝くじに当たったようなものだと喜んでいましたけど。

To. T 46年に来ました。義父が関東大震災に遭ったから、ここは地盤が固いので選んだと言っていました。ベビーブームの頃で子どもは毎日つばき公園で遊んでいました。子育てにはよかったですね。その頃幼稚園だった子が地元で働いてくれていると嬉しいですよ。

A. W 昭和47年に会社の借り上げ社宅で来ました。こんな環境のいいところで子育てができるのかと思って嬉しかった。潇洒な家、モダンな家が多くて。前はウド畑、その後にキャベツ畑や大根畑になり、今は住宅地になっています。

当時、障害者の施設「のぞみの家」がありましたが、「のぞみの家」をなんとか支援しようとやりました。大道幼稚園設立の署名もしました。小さな子供をもっているお母さん方、ずいぶん運動しましたね。55年



に大道幼稚園、せっかくできてうちの隣なのに抽選で落ちて弥生台幼稚園に行くことになって。

地下鉄が来るという話もありましたけど。

**司会** 丸の内線を新青梅街道まで延長しようということで大きな立看板が立っていました。結局、運動だけでしたね。

**S.Y** 私は49年に来ました。第2次ベビーブームの頃で子供がたくさんいて家族同士の交流もあり、お誕生会で呼んだり呼ばれたり、良い思い出になっています。雑木林や原っぱがあって、ああここに越して来てよかったなと思いました。

#### <めも> 「のぞみの家」

障害者の福祉施設。昭和47年から58年まで、旧消防署の裏にあった。自治会や前沢ときわ会は寄付や物資斡旋などで支援、また集会所を使用させてもらっていた。現在は下里2丁目にある。

### ■ 買い物は滝山商店街、花小金井まで ■

**M.K** 私は昭和45年に家族4人で引っ越してきました。念願の家を建てたということで嬉しくて。主人が45歳、子供が中2と小5でした。文京区からでしたが、転校がいやだということでここから文京区の学校に。朝6時15分のバスに乗せました。私は5時前から起きて弁当作ったりして。買い物が大変だった。商店は団地前だけ。自転車に乗れなかったので1日に1回、2回、走ったことも。

**W.K** 今のまえさわ小町商店街ができたのはずっと後、花小金井まで買い物に行ったこともありました。

**Te.T** バス停前の今の駐車場のところは原っぱ。バッタ獲りをやった。ここも、たしかキャベツ畑だった頃がありましたね。

**To.T** 遊歩道の落葉を集めて焼き芋をやりました。当時は落葉焼きよかったですね。そのうち苦情がでたり、ダイオキシン問題があったりしてできなくなりました。



(あれも思い出、これも思い出。「味の民芸」で)

## ■ 今は昔のバス事情 ■

- Te. T** 滝山団地入口のバス停は団地の方で満員になり素通り、乗れなかった。小金井街道はどろ道、ダンプカーが行きかっていた。
- M. K** 前沢住宅バス停のところは雑木林。危ないので子供には駅から電話させてバス停まで迎えに行った。
- W. K** 小金井街道も狭くて。花小金井の総合庁舎のところからずっと渋滞、バスが動かない。花小金井の駅まで30分かかり、歩いた方が早かった。

## ■ 1学年13クラスの西中 ■

- 司会** うちの娘が西中学校に入った頃は1学年が10クラス。うち3クラスはプレハブ校舎だった。一番多い年はMクラスまであったといいますね。九小では野球チームが2つもあった。

<くめも> 「西中・九小の生徒数が最も多かった年と現在」

	年 度	生 徒 数	ク ラ ス 数
西中	昭和 52 年(1977)	1,373	33
	平成 27 年(2015)	442	12
九小	昭和 49 年(1974)	1,087	28
	平成 27 年(2015)	553	17

- W. K** 滝山の商店街も若いお母さんたちでいっぱい。にぎやかでしたね。

## ■ 玄関に祭り提灯—夏祭り ■

- 司会** 夏祭りも盛り上がりました。
- W. K** 私たちみんなで阿波踊りをやりましたね。
- 司会** そう、西武の滝山営業所近くから出発、途中疲れるから人のいないことでは手抜きして、人のいるところでまた踊り出した。駐車場の広場ではやぐらを組んで朝早くからスピーカーで歌謡曲など流していた。夜は盆踊りで賑わいましたね。当時、Mさんがマイクでアナウンス。きれいな声で、四丁目の代表だった。
- A. W** 自治会で斡旋した提灯を買って、みなさん、家の玄関のところに飾りました。
- S. Y** 商店会の斡旋だったか「おかめ、ひよつこの柄」のゆかたを買って着ましたね。こどもたちも袴纏（はんてん）を着ました。

司会 盆踊りで炭坑節や東京音頭もやったけど東久留米音頭もやりましたね。

A.W 三橋美智也の歌でしたね。

司会 盆踊りをやらなくなってからは、シダックスが広場に大型トラックを出してカラオケをやった。(写真は会場のやぐら。右端上に消防署が見える)



## ■ 火事・事件・事故 ■

司会 町内で大事件とか犯罪とかは？ ラーメン屋さんでは大事件（殺人）がありましたけど。平成20年ですね。

W.K 昭和52年には私の家の近くで大きな火事がありましたね。夕方。お隣は屋根がちょっと焦げたくらいでしたが火元は丸焼け。ストーブの上で洗濯物を干していたということでした。消防は隣の雑木林に燃え移ったら大変だなど言ってましたが。けれど、消防署がすぐ近くにあるのに消防車がなかなか来なかった気がします。

A.W 空巣・泥棒は多いですよ。うちは人がいるときに入られました。寝ていると隣の部屋でゴソゴソしている。何してるんですかというニッと笑って、バッグ持って逃げた。夫は寝ていて気が付かなかった。すごい怖い思いをした。

S.Y 今も空巣は多い。ご近所のMさんが、荷物を車から出して家に入って、戻ったら残りの荷物を盗られてた。ほんのちょっとの間なのに。

A.W 警察もこの地区は多いと言ってますね。

S.Y 交通事故もありましたね。バイクで亡くなった方がいました。それで今の第7分団の前の通り、道が交差する所に埋め込み式の発光器（交差点鉾）や何か所かにカーブミラーを付けました。

To.T 滝山北通りと滝山公園通りの交差点でも事故が多く、自治会で要求して信号機を付けてもらいました。

## ■ こどもでいっぱい自治会旅行 ■

司会 自治会の年表をみると、つばき公園でのラジオ体操、スイカ割、花火大会や市民運動会への参加がありますが。

To.T 滝山公園で大きな花火打ち上げたのは覚えています。七小での市民運動会、うちの自治会からは1,500m競走に出ましたね。



**Te. T** 市川さんが出て1位になった。ただ、あとになると、だんだん役員中心の参加になってしまった。

**A. W** 自治会の旅行、印象に残っているのは、貸切の西武の乗合バスにゴザを敷いて、男の人たちがいきなり酒盛りを始める、びっくりしました。旅行じゃないのかと。ぶどう狩りに行くときですね。そのうちそういうのがなくなって、目的地に行ってからとなりました。

**司会** 昭和52年のこのもの国、バス2台で行ったとき、子供がたくさん乗ってて、途中で

「おしっこ」と。多摩川越えたなし園あたりでバス止めて・・・。酒盛りの記憶はないな。昭和54年に勝沼ぶどう狩りに114名も参加している。旅行はぶどう狩りに行った年が多いですね。最近は団体での旅行より、家族で車でということで参加者が少なくなってきたのでしょうか。

**S. Y** 家族でというのもいいですが、自治会の旅行でシートを敷いて親子で食べたお弁当は格別でした。

### ■ 消防署職員待機寮 ■

**司会** 前沢四丁目には公共施設ということで、消防署、くぬぎ児童館、大道幼稚園がありました。

**To. T** 消防署の待機寮は、よく自治会の役員会などで



(大人も子供と一緒にラジオ体操)



(ぶどう狩りで大喜びの子供達)

前沢消防署待機寮に於ける  
詩吟教室



使わせてもらいました。2階に防災用品を置かせてもらってた。消防署では消火訓練などでもお世話になりました。

- A.W 待機寮がなくなったとき、自治会の備品を整理するのが大変だった。テントの処分はしようがなかったですね。ヘルメットは役員の方で引き取って預かっています。四丁目自治会って名前が書いてある。保存水は最初の2年間で購入した分は東日本大震災のときに支援物資として送りました。各役員に保管してもらっていた6本入りの20ケースを急遽集めて、市役所に運び込みました。

#### <くめも> 「消防署職員待機寮」

消防署の裏にあった木造二階建ての建物。自治会はのぞみの家移転後、くぬぎ児童館や大道幼稚園を集会所として利用させてもらっていたが、昭和59年から平成22年3月までこの待機寮を集会所として使用。2階には防災関係など自治会の備品を保管していた。

自治会は昭和61年、エアコンを寄贈。また、前沢ときわ会は、役員会の他、詩吟教室、盆栽教室、囲碁、手芸等でも活発に利用。合わせて敷地内の除草、花植えなど環境美化のボランティアをおこなった。商店会や近隣の自治会も利用するなど、貴重な地域コミュニティセンターの役割を果たしていた。

### ■ 環境守る運動 ■

- 司会 自治会として一斉に側溝の清掃などやりましたね。
- To.T 参加しましたよ。雑木林の清掃も。
- Te.T 遊歩道の雑草取りもやった。今は腰が痛くなってとても・・・。
- 司会 マンション建設のときの申し入れや、違法建築の問題など自治会として取り組んできていますね。そういう先輩たちの長い下地があって今の環境が守られているとも言えますが。
- Te.T 私が会長のときの違法建築問題。建築指導事務所は「指導します」だけで何もできなかった。ガソリンスタンドと朝日電器さんができるときは、外壁をきれいにしてもらって、コープ野村さん側の出口は緊急の場合しか使わないように覚書を交わしました。
- 司会 志久道マンションは4階建ですが・・・。
- W.K 規制（第1種低層住居専用地域）がされる前に建ったんです。同じ地主さんから私たちのところも私有地を分譲してもらいました。あのマンションは新日鉄の社宅でした。その奥さん方や子供たちもたくさんいて敷地内には砂場やブランコもありましたよ。新日鉄が撤退して、今住んでいるのは2軒だけ。

### <めも> 「用途地域の指定問題」

建物の種類や高さなどは指定された「用途地域」により規制されている。現在、小金井街道沿いは第2種住居地域、滝山中央通り・新所沢街道沿いは第2種中高層住居専用地域、その他の大部分は第1種低層住居専用地域となっている。第1種低層住居専用地域は良好な住環境を守るために最も厳しい規制がかけられており、住居兼用でない事業所や店舗は建てることができない。

昭和47年、市は当地区全域に対し第2種住居専用地域（現在の第1種・第2種中高層住居専用地域）を提案、自治会は一丸となって繰り返し反対運動を展開し、現在の用途地域の指定を獲得した。

## ■ これからもたくさんの思い出を ■

- 司会 最後に、45年間振り返ってみてどうでしょう。
- W.K 都心が近いというのが一番の魅力。花小金井にも東久留米駅にもバスで10分。商店も昔に比べるとずいぶんできました。杖ついてでも行ける。滝山まで行くのは年をとるとたいへんですからね。
- T.I シンメイさんにも頑張ってもらいたいですね。100円ローソンがなくなって残念です。
- S.Y マンションや家が建って新しい人が増えていますね。この企画で45年の歴史を知っていただき、若い人に新しい歴史を作り続けてもらいたいなと思います。
- A.W やっぱり若い人たちにどんどん自治会に入ってもらって、その人たちの知恵を借りて楽しくやっていかないと。
- 司会 若い人たちもここをふるさととして、たくさんの思い出を作って欲しいですね。 (了)

<「座談会」を終えて> 誰かが話し出すと次々と勝手に割り込んで、話はあっちに行ったりこっちに行ったり。座談会ではなく、ざつ談会？人選が悪かったのか、企画が無謀だったのか・・・。

ともあれ、45年前までさかのぼって盛り上がりました。

なお、掲載できなかった発言も多くあります。わかりやすくするために発言の順序も一部入れ替えています。ご容赦下さい。

<文責：広瀬>

☆HP掲載にあたり、出席者名をイニシャルに替えています。